

R. I. District 2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2013-2014年度 RI会長 ロン D. パートン

2013-2014年度 魚津RC会長 若井 貞克



第2906回 例会報告

2014年2月7日



世界
理解
月間

- ・点鐘
- ・握手
- ・君が代斉唱
- ・ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ・四つのテスト唱和

ゲスト並びにビジターの紹介

魚津市観光協会事務局長 溝口 隆 様

誕生祝 なし



開会挨拶 若井会長

皆様、こんにちは。今日は2906回例会です。

今日のお客様、魚津市観光協会事務局長溝口隆さんようこそお越し下さいました。

皆さん、480億円これは何の数字ですか。昨年1年間に「おれおれ詐欺」の被害額です。富山県だけでも4億5千万円の被害が出ています。おれは絶対被害に遭わないと思っている人が一番危ないそうです。

魚津高校、滑川高校OBなどと巧みな言葉に騙されます。最近、魚津市で2千万円。滑川市で2900万円の被害がありました。お年寄りには沢山の金を持っているようです。

皆さんも気を付けて下さい。・・・「朝刊から感じた事」

幹事報告 愛宕幹事

★ガバナー事務所・・・2016年規程審査会（立法案の提出について）

★富山大学医療ルネッサンス事業・・・寄付のお願い

★魚津しんきろうマラソン実行委員会・・・開催案内

★2月例会案内

14日(金) ゲスト卓話 (サンルート)
魚津埋没林博物館学芸員 打越山詩子さん

21日(金) 卓話 根岸さん(サンルート)

28日(金) 卓話 谷口さん(サンルート)

★2月SAA補助 生駒さん、平崎さん、池上さん

ニコボックスの報告 寺田委員長



★若井会長・・・今日の良い天気。

★生駒さん・・・寒い魚津に気温33℃のタイから長男。
雪まつりの札幌から長女が寒中見舞に来ました。

★寺田さん・・・宮津八幡宮でお祓いした福豆をお分けします。

委員会報告 ★広報委員会・・・中川委員

「ロータリーの友」の紹介

ポール・ハリスの夢を映す国際大会の会長メッセージから「ロータリーが成長し、広まった時、ポール・ハリスは紛争が完全になくなった世界を思い描きました」や寄稿文では、「LCとRCの奉仕活動の違いをLCは体を動かす活動、RCは法人役員が多く寄付を集めるにも紳士的に違う。」ほか

★インターアクト委員会・・・野澤委員長

15日(土)、インターアクト海外研修に伴う事前研修を行います。今回の海外研修では魚津工業高校生徒2名の他22名が参加します。湯浅会長のメッセージや土産を持参する予定です。

本日の卓話 魚津市観光協会事務局長 溝口 隆さま

「魚津市の魅力と観光について」

1. 観光という言葉について

語源は中国の易経から「国の光を観るは、もって王に賓たるによし」国の光とは国王の仁徳と善政により国が繁栄しその国を訪れる人々にはその国が光輝いて見えることをいう。

現在は少子高齢化時代の経済活性化の切り札として国をあげて推進しています。また、観光による交流人口の拡大は地域経済活性化にかかせないものとなっています。

2. 最近の旅行形態と旅行客の変化について

・旅行重視→旅行先重視→旅行行為重視

出席報告 稲盛委員

★本日の出席者 31名

欠席者 7名

出席率 81.57%

★第2904回

メイクアップ 中島

★第2904回

修正出席率 64.86%

⇒ 67.56%



- ・物見遊山→体験、学習、癒し、滞在
- ・均一化→多様化、個性化
- ・団体旅行→個人、グループ旅行

3. 滞在型による経済効果について

- ・定住人口が1名減少した場合に対する観光客の来訪について

外国人旅行者	7人分
国内の旅行者（宿泊）	24人分
国内の旅行者（日帰り）	79人分



- ・魚津市の人口も12月末で44,036人と前年対比279名減少となっています。今後も続くと思われま。観光客（宿泊客）の受け入れは必要と思ひます。
- ・日本国内の旅行消費額は（2011年）国内宿泊旅行15.1兆円。国内日帰り旅行4.9兆円その他を含めて22.4兆円と言われま。さらに波及効果は約2倍になると言われま。但し、通過型の日帰り観光客では一部施設の入拝観料収入があっても経済効果はあまり期待出来な。

4. 来年3月開業予定の新幹線対策について

- ・JR利用の利便性だけを見れば、魚津市民は今までより不便になると思ひます。（特に大阪方面への利用について）又現在の魚津駅にあるみどりの窓口がなくなりJR券をどこで購入するかまだ分かっていません。
- ・魚津は富山を代表する観光地、立山黒部アルペンルートと黒部峡谷の中間地点であり、黒部宇奈月温泉駅と富山駅双方からの客を呼び込むよう今後PRに努めるべきと思ひます。
- ・一般の観光客は到着したJR駅の街ではあまり泊らな。着いた駅からどこかを観光して夕方、目的地の宿泊場所へ行くのが一般的であります。



5. 魚津市の宿泊施設の利点をPRについて

- ・魚津市内にはホテル、旅館が16施設、約1,700名の宿泊ができます。またホテル、旅館は駅の近くに多くあり周辺には多くの飲食店があり他の町にはない賑わいがあります。日本海側の都市で44,000人の人口でこれだけの客室があり、飲食店街を楽しむのは珍しいと思ひます。
- ・平成24年の市内での宿泊者数は308,000

人であり、対前年77,000人も増加しています。

- ・これからは魚津に泊ることより、より楽しめる観光資源の開発をPRしなければならなと思ひます。



6. 現在ある観光資源をいかに発展させるかについて

- ・平成23年度「蜃気楼の見える街魚津」はじゃらんリサーチセンターの調査によると、関東、近畿、中部地方約千名の解答として魚津市の認知度は半数以上の方が名前を聞いた事があるが旅行で訪れた事がない。
- ・県内では魚津市にしかない埋没林博物館、水族館、

ミラージュランドなどをもっとPRすべきではないでしょうか。

- ・ミラージュランドに新しい施設として立体迷路（ミラメイズ）が3月15日にオープンすると聞いております。これは現在日本に4か所あり、日本海側では初めてであります。
- ・魚津の食について、県外からの来客のほとんど魚津は海の幸がおいしいとのイメージを持っておられます。最近テレビで放映されましたバイ飯についても県外から問い合わせが多くあります。また、3月にはテレビのケンミンショーで「げんげ」が紹介されると聞いております。魚津には海、野、山と自然のおいしい食材が多くあることを市民そろってPRすべきと思います。

7. 魚津市駅前観光案内所について

- ・平成23年4月13日オープン（毎日9：00～18：00年中無休）
- ・案内所への来店客数
平成23年度 9,512名（観光5,953人 ビジネス529人 その他3,030人）
平成24年度 13,485名（観光7,648人 ビジネス552人 その他5,285人）
平成25年度（1月末）11,533名（観光7,651人 ビジネス468人 その他3,414人）
- ・来店客の毎日の人数、市内、市外、県別さらに目的別にデータを取っている案内所は県内には無いと思います。

- ・来店客には常に親切にご案内し、他の案内所との差別化を図っていきたくと思います。



今後ともよろしく申し上げます。